

都道府県名：青森県 団体名：一本木沢ビオトープ協議会

地域

周辺は、江戸末期の稲生川開削(三本木原開拓)により拓かれた豊かな水利・田園地帯です。
一本木沢ビオトープは、ため池や湿地など多様な水辺環境(ミクロ環境)がモザイク状に存在し、ホタルやトンボ等の豊かな生物多様性を育んでいます。また、北里大学と地域住民・企業・行政が緊密に連携しており、科学的調査に基づいた環境教育や保全活動が持続的に展開できる、学術・協働の土壌を備えた地域です。

経緯

平成11年 一本木沢ビオトープ協議会設立

平成17年 一本木沢ビオトープ竣工

平成18年 「自然観察会」「ホタル・トンボの体験学習(親自然体験)」開始

功績内容

平成11年の造成時から関与し、20年以上にわたり流域住民、企業、大学、行政、教育機関等と連携して保全活動と環境教育に取り組んでいます。市民向け剪定講座や企業の草刈り、中学校との保全作業を実践するほか、シンポジウムの開催や市の出前講座を通じ、保育園児から小中学生まで幅広い世代へ環境教育を行い、地域一体となって貴重な水辺を次世代へつなぐ活動を展開しています。



▲生物採集



▲生物マッピング



▲企業ボランティア草刈り



▲剪定講座



▲次世代に伝えたい美しい水資源